

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
北海道	第30回全道少年柔道優勝大会 (小・中学生) 3月2日	参加選手からの標語の募集、及び大会時表彰(優秀賞) 大会プログラムに掲載して啓発	柔道ルネッサンス活動の理解が進み、各道場の行動と姿勢に効果が現れた。 今後は、道ルネッサンス活動の組織体制化を図る。
	第16回青森県中学校春季柔道大会(5/11むつ市体育館) 第59回青森県中学校体育大会夏季大会柔道競技(7/23-24青い森アリーナ) 第31回東北中学校柔道大会(8/8-9青森県武道館) 第37回青森県中学校新人柔道大会(10/4-5五所川原市民体育館)	目的 規約第18条 柔道人のモラル向上と人づくりのための柔道の普及発展に努めることを企画・立案し、それぞれの参加の各団体に運営する。  という基本理念のもと、自分たちのできること(やるべきこと)に取り組む。  内容 ○試合会場へのポスター掲示による啓発活動 ○ルネッサンス標語「柔道で世界に広げよう日本の心」の掲示 ○試合プログラムによるルネッサンス活動の紹介 ○開会式内での担当者からの呼びかけによる啓発活動 ○試合会場施設内のトイレの整理整頓及び状況確認と指導 ○参加中学校の生徒によるルネッサンス委員を編成しての巡回清掃活動	(成果) ○会場に入る際、元気に挨拶できている。 ○トイレサンダル(スリッパ)の整頓は選手にはだいぶ理解されている。 ○開会式で、選手だけではなく会場にいる応援保護者にも担当から連絡・説明したことにより、会場全体に意識されているようになってきた。 ○ゴミの持ち帰りについても、大きく目立つゴミはほとんどなく比較的きれいな状態での施設利用ができるようになってきた。 ○生徒同士でのルネッサンス委員を編成して活動したところ、大変意欲的に取り組んでいた。  (今後の方針等) ○継続した啓発活動に取り組んでいく。 ○各校指導者に主旨徹底を図り、日常の活動においても意識し、実行されるように働きかける。
青森	青森県高体連柔道専門部  春季大会(4/26-27八戸市) 高校総体(6/7-9五所川原市) 夏季大会(7/12-13むつ市) 新人戦(11/8-9弘前市)  対象:青森県高体連専門部員、顧問約400人対象、その他保護者を含む慣習にも呼びかける。	目的 昨年同様、県高体連柔道専門部独自のスローガンのもと、大会ごとのプログラム掲示にてルネッサンス運動を生徒や顧問、観衆等に専門部部長自ら呼びかけることにより、最近失われかけている規範意識の向上を再考・再確認し、柔道人としてのモラルの向上を図る。また、環境美化や清掃活動の徹底により奉仕活動の涵養をはかる。  内容 大会時に高体連専門部独自のルネッサンス活動のスローガンの元に大会を実施。専門部部長や競技委員長から観衆や保護者、顧問へのルネッサンス活動への協力を仰ぎ、円滑な大会運営を目指す。 今年度は、試合中にもゴミ拾い係の担当生徒を決めて積極的に主競技場周辺のゴミ拾いをさせたこともあり、大会終了時のゴミの散乱を防ぐことができた。 柔道ルネッサンス運動の意義を再確認させる。県柔連から配布されたルネッサンス運動の旗を掲示、提唱する。	(成果) ルネッサンス活動の呼びかけをすることで、ゴミの持ち帰りなどの面において以前より生徒や観衆に意識化され効果が見られるようになってきている。会場使用の面では禁煙場所の使用問題や、弁当空を置き去りにして帰る学校がいるなどの問題も改善されつつある。 継続して呼びかけや積極的な奉仕活動に努めたい。審判への抗議の面では、審判委員制度の導入もありヤジなどの抗議は減少した。  (今後の方針) ○大会毎のルネッサンス標語のプログラム掲示・提唱 ○ルネッサンス標語旗の掲示 ○ルネッサンス活動面からの容儀態度などの指導 ○スリッパや靴の整理整頓、ゴミ持ち帰りを徹底する。 ○指導者のモラルの向上の提唱 ○大会中の会場係生徒の清掃活動の継続

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
	青森地区柔道会 青森地区柔道大会(8/31青森市スポーツ会館柔道場)小学生(4年生以上)・中学生・高校生・一般 約150人	目的:柔道を通しての人間教育を推進し、社会に貢献できる心の豊かな青少年の健全育成を図る。 内容: ルネッサンス標語の入った横断幕を会場に掲げ、試合開始前には、大会参加校の顧問の先生から、毎日選手達と接している指導者の一人として、ルネッサンス運動の解説と啓発を行った。	(成果) 選手の礼法と観戦する父母の応援マナーが向上した。 観覧席のゴミの持ち帰りが徹底された。 (今後の方針) 柔道に憧れる子供たちが増えるような活動を継続していく。
	八戸地区 第48回南部地方柔道大会(10/26三戸郡五戸町立五戸中学校) 小学生・中学生・高校生・一般 総数602人	目的:柔道ルネッサンス啓発活動の展開 内容:柔道精神の復活、嘉納治五郎師範の柔道の理念と人間教育について活した。大会次第の中の選手宣誓の後に「柔道ルネッサンス」啓発活動について運動の趣旨と実践について時間をとって活した。	(成果) 挨拶、ゴミ処理、試合態度、応援など礼儀正しく毅然として行われていた。 (方針) 宣誓者の言葉の中に柔道ルネッサンスの精神を網羅したものを言ってもらいたい。
	八戸地区 第44回四市三郡七戸桜花柔道大会(4/20七戸町立武道館) 小学生・中学生・高校生・一般 450人 役員100人	目的: 柔道ルネッサンス運動の啓発 —嘉納師範の理想とした人間教育— (フランス選手団にも理解してもらう) 内容: 1. プログラムに1ページ確保し、更に説明を加え、啓発活動した。(フランス選手・役員27人参加) 2. 精力善用:自他共栄の2つのスローガンを掲げた。	(成果) 日仏交流戦を通じて、柔道ルネッサンスの趣旨が理解されたものと思う。 (今後の方針) プログラムに掲載するだけでなく、全ての大会の宣誓文に柔道ルネッサンスを加えることにしたい。 試合前に「形」を一種演じ、一般観覧者、保護者、選手に柔道における礼の大切さを「形」を通して理解を図っていきたい。
青森	弘前地区柔道会 第56回南地方中体連夏季大会(6/15青森県武道館) 第53回南地方中体連秋季大会	目的 柔道ルネッサンス委員として、小・中学生、指導者、父兄に対し、礼節、美化運動、モラル向上するため協力をお願いする。 内容: ○開会式で上記目的について話した。 ○試合プログラムによるルネッサンス活動の説明	(成果) ○ゴミの管理がよくなってきた。 ○礼法が少しずつ身についてきていると思う。 (今後の方針) 指導を継続、礼法美化運動、スリッパを揃える。
	第25回青森県少年柔道選手権大会(11/9平内町立体育館)530人参加 平成20年度全日本柔道少年団青森県連合分団長会議(1/24まかどホテル)	目的:時代を担う少年に正しい柔道を身につけることの重要性を理解させ、大会を励みとして益々積極的に正しい柔道の習慣に努めて、斯道発展に寄与することを期待し、心身の健全な発展と相互の親睦を図ること 内容 ○各少年分団で少年たちへ柔道修行の一つとして指導する。 ○柔道ルネッサンスの標語を大会プログラムへ掲示 ○開会式にて選手だけでなく、会場にいる応援保護者にも場内放送でのルネッサンス活動の趣旨紹介	(成果) ○開会式の挨拶で、選手たちの声が大きくなってきた。 ○他分団との交流も盛んになってきた。 ○応援保護者からも進んでゴミを持ち帰るようになってきた。 (今後の方針) ○新年度においても、継続し各事項に取り組んでいく。 ○各大会のプログラムへ柔道ルネッサンス5カ条の掲示

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
岩手	<p>報告者:藤原洋治</p> <p>[前期]</p> <p>第20回マルちゃん杯東北少年柔道大会(5/18岩手県営武道館)</p> <p>小学生学年別柔道大会(7/5岩手県営武道館)</p> <p>東北ブロック小学生強化合宿(7/19-21久慈市立三船十段記念館)</p> <p>第23回岩手県防犯少年柔道大会(8.9岩手県営武道館)</p> <p>第19回知事杯争奪岩手県少年柔道大会(9/28岩手県営武道館)</p>	<p>目的:県主催・主管の左記大会において、柔道ルネッサンス活動を周知徹底する。</p> <p>内容:</p> <p>(1)連盟の全般的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県柔道連盟ホームページで標語(岩手県選手の入選した作品)を掲げ、啓蒙している。</li> <li>・連盟として中体連・高体連・スポ少・一般のルネッサンス担当者を決め活動内容の徹底を図っている。</li> <li>・柔道ルネッサンスの趣旨を理解して実践しているスポ少の指導者に対して、優秀指導者として表彰している。</li> </ul> <p>(2)各種大会での活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式における会長・主催団体等の挨拶の際ルネッサンスについての講話</li> <li>・開会式の後、役員、選手、監督、観衆を対象とした会場使用等マナーのスピーチの実施</li> <li>・マナーアップの取り組み(監督会議の際、選手への指導の徹底を要請)</li> <li>・東北ブロック小学生強化合宿の際「修行の心構え」の講話</li> <li>・大会会場への横断幕・ポスター等の掲示</li> <li>・大会途中での場内放送によるマナーアップ・ゴミ持ち帰り等の呼びかけ</li> </ul>	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選手、監督及び観衆に柔道ルネッサンス活動に対する理解と認識が向上し、マナーや柔道修行に対する心構えなど確実に向上している。</li> <li>・優秀指導者表彰により指導者の柔道ルネッサンスに対する認識が向上している。</li> <li>・会場内での挨拶や保護者の応援マナーが向上してきている。</li> </ul> <p>(今後の方針等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は大学生や一般選手への浸透を図っていきたい。</li> <li>(特に大学生や一般の選手やテレビで観戦する選手のマナーは子供たちにダイレクトに伝わることから、子供たちの模範となるような行動を実践して頂きたい。)</li> </ul>
岩手	<p>[後期]</p> <p>第29回県中学校新人柔道大会(10月 岩手県営武道館)</p> <p>第31回岩手県スポーツ少年団柔道大会(2月 岩手県営武道館)</p> <p>第8回東北中学校春季柔道大会(3月岩手県営武道館)</p>	<p>目的:岩手県柔道連盟が主催及び主管する左記対象の大会行事において、現在講道館と全日本柔道連盟で推進している柔道ルネッサンス活動を周知徹底する。</p> <p>内容:</p> <p>(1)連盟の全般的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県柔道連盟ホームページで標語(岩手県選手の入選した作品)を掲げ、啓蒙している。</li> <li>・連盟として中体連・高体連・スポ少・一般のルネッサンス担当者を決め活動内容の徹底を図っている。</li> <li>・柔道ルネッサンスの趣旨を理解して実践しているスポ少の指導者に対して、優秀指導者として表彰している。</li> </ul> <p>(2)各種大会での活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式における会長・主催団体等の挨拶の際ルネッサンスについての講話</li> <li>・開会式の後、役員、選手、監督、観衆を対象とした会場使用等マナーのスピーチの実施</li> <li>・マナーアップの取り組み(監督会議の際、選手への指導の徹底を要請)</li> <li>・大会会場への横断幕・ポスター等の掲示</li> <li>・大会途中での場内放送によるマナーアップ・ゴミ持ち帰り等の呼びかけ</li> </ul>	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選手、監督及び観衆に柔道ルネッサンス活動に対する理解と認識が向上し、マナーや柔道修行に対する心構えなど確実に向上している。</li> <li>・優秀指導者表彰により指導者の柔道ルネッサンスに対する認識が向上している。</li> <li>・会場内での挨拶や保護者の応援マナーが向上してきている。</li> </ul> <p>(今後の方針等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動として、年間を通して柔道ルネッサンス活動に積極的に取り組んだスポーツ少年団や中学校を表彰したい。</li> <li>・岩手県柔道ルネッサンス賞(スポ少2チーム、中学2チームを表彰する。各チームが取り組んできたことを書類で提出させ、審査し2月のスポーツ少年団大会で発表表彰する。)</li> </ul>
宮城	<p>県柔道連盟主催各種大会</p>	<p>目的:嘉納師範が理想とした柔道による人間教育</p> <p>内容:宮城県民柔道大会ほか各種大会において県連会長、副会長、ルネッサンス担当者からスピーチを行った。</p>	<p>成果:挨拶が元気よくできるようになった。試合後のゴミ等が無くなった。</p>

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
秋田	[前期] ①露口杯柔道大会(4/29鹿角市)	・ルネッサンスの趣旨を説明し、大会終了後選手、役員で格技場周辺の清掃活動を行った。	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*会場使用後の清掃、ゴミの持ち帰り、一般の喫煙のマナーがアップし、協力態勢が広がった。</li> <li>*下足、トイレスリッパ等の整理整頓が良くなされるようになった。</li> <li>*各大会で会長、役員が挨拶の中で柔道ルネッサンスについて述べる方が多くなった。</li> <li>*試合におけるあいさつ、礼法がよくなってきた。</li> <li>*標語横断幕の掲示が広がった。</li> </ul> <p>*大会プログラムにルネッサンス標語を掲載する等、編集の工夫が多くなった。</p> <p>*柔道ルネッサンスの理解が選手のみならず保護者にも広がりがみえてきた。</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*柔道ルネッサンス運動の一環として、ボランティア活動等の実践の一層の広がりを期待したい。</li> <li>*ルネッサンス精神を日常生活まで広がりを図る工夫が求められる。</li> <li>*ルネッサンスの願いは、小中高生、柔道関係者に理解されてきたが、一般への広がりを図る工夫が求められる。</li> <li>*柔道ルネッサンス精神の一層の広がりと深まりを願って、諸研修会・講習会の折に、指導者等への啓発・啓蒙を図ること。</li> </ul>
	②第45回本荘由利春季柔道大会(4/29本荘由利市)	・柔道ルネッサンスの資料配付 ・柔道ルネッサンスを含めたあいさつを行った。	
	③第45回大曲仙北青少年保護育成柔道大会(5/3仙北市)	・役員挨拶の中でルネッサンスについても述べ、選手、観衆に啓発を行った。 ・会場内にルネッサンスのポスターを掲示した。	
秋田	④第35回全県選抜防犯少年柔道大会(5/11秋田市)	・開会式で柔道ルネッサンスの意義、目的等を参加者全員に説話した。	
	⑤秋田市北部杯春季少年柔道大会(5/25秋田市)	・試合場は観戦上の礼儀は、子供達は良かったが、保護者の一部に帽子をかぶって畳に上がっている状態だったので注意をした。	
	⑥第11回秋田ゼロックス杯争奪柔道選手権大会(6/1秋田市)	・会長挨拶の中でルネッサンス運動について述べ啓発された。 ・会場使用について柔道ルネッサンスの視点から呼びかけた。	
	⑦大曲仙北中学校総合体育大会柔道競技(6/21-23仙北市)	・選手宣誓に”柔道ルネッサンス精神”を盛り込んだ。 ・プログラムに柔道ルネッサンスのポスター(縮小版)を裏表紙に用い啓発が図られた。	
	⑧鹿角地区中学校総体(6/22)鹿角地区中学校新人総体(9/14)(鹿角市)	・ルネッサンスの趣旨を説明し、大会終了後選手、役員で格技場周辺の清掃活動を行った。	
	⑨第30回東北ブロック柔道大会(7/11-12秋田市)	・会長挨拶の中でルネッサンス運動について述べられ啓発を図った。	
	⑩第57回秋田県中学校総合体育大会柔道大会(7/19-21秋田市)	・全県総体プログラムにルネッサンス関係標語を掲載するなどプログラムの編集に工夫がみられた。 ・中体連独自に標語を募集し、優秀作品を開会式で表彰し、その標語をプログラム裏表紙に掲載した。	
	⑪第31回秋田県スポーツ少年団大会柔道競技(7/27秋田市)	・ルネッサンス標語横断幕を掲出した。	
	⑫第27回県南四郡市柔道大会(8/3仙北市)	・柔道ルネッサンス標語横断幕やポスターを掲示した。 ・小学生10名によるスピーチでルネッサンス標語等を掲載する工夫を図った。	

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
	⑬第48回全県郡市対抗柔道大会(9/14湯沢市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長挨拶の中でルネッサンスについても述べられ啓発を図った。</li> <li>・中学生の「夢の実現のために」の作品発表で一生懸命努力する大切さをアピールした。</li> </ul>	<p>[成果]</p> <p>1. 成果と思われる点は、            ( )内の数字は、8支部・団体等からの報告数</p> <p>①生徒、保護者、関係者の施設利用等のマナーが向上している。(2)</p> <p>②ルネッサンスの趣旨が、柔道を志している青少年、青年、関係者に広がってきている。(3)</p> <p>③柔道ルネッサンスという言葉は浸透してきたと思う。(3)</p> <p>④生徒がトイレのスリッパを並べたり、ゴミの持ち帰りが良くなってきている。(4)</p> <p>⑤大会会場でトイレなどのスリッパを直す選手を見かけるようになった。(4)</p> <p>⑥練習道場玄関での下足の整頓がきれいになってきた。</p> <p>⑦挨拶が良くなってきた。(2)</p> <p>⑧挨拶時の声が大きくなった。</p> <p>⑨会場の撤収時、積極的に動くようになった。</p> <p>(まとめ)</p> <p>「柔道ルネッサンス」の名称、活動・運動の趣旨の認知は関係者に確実に広まっている。ただし、一般社会への浸透は今後の活動に期待したい。施設・設備の利用状況も良くなってきているし、ゴミの持ち帰りなども徹底されるようになった。選手や部員のあいさつもよくなってきているなどマナーの向上がみられる。</p>
〔後期〕	①第31回大仙北柔道大会(10/12大仙市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場にルネッサンス標語横断幕(2枚)とポスターを掲出した。</li> <li>・中学生による「柔道ルネッサンス五つの心」の呼びかけを5人が開会式で行う。</li> <li>・会場使用上の留意点をルネッサンスの観点から呼びかけた。</li> <li>・下足の整理整頓を保護者が自発的に行っていた。</li> <li>・会場の準備、後始末を中・高校生、保護者、役員が一体となって行った。</li> <li>・プログラムの表紙、裏表紙にルネッサンスのポスターを用いた。</li> </ul>	
	②市民総合体育大会(10/12鹿角市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルネッサンス運動の趣旨を話す。</li> <li>・大会終了後、会場周辺の清掃活動に励む。</li> </ul>	
	③第5回記念日本マスターズ国際柔道大会(10/17-19秋田市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムに柔道ルネッサンスカレンダー(2008年)の縮小版を掲載し啓発した。</li> </ul>	
	④大館市柔連スポーツ市民大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポ少から大人までの大会で、選手宣誓(中2生)に嘉納師範の名称と目的とする精神を取り入れた。選手宣誓は従来の内容と違うので新鮮に感じられた。</li> <li>・会場では、嘉納師範のプロフィールと歴史を作成して、会場入り口にて無料配布した。試合前、師範の写真を前に柔道の目的を説明し、ルネッサンス運動について説明した。</li> </ul>	
	⑤第56回青少年健全育成防犯柔道大会(11/1大仙市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長挨拶の中で、ルネッサンスと関連し、心身の健康の大切さを述べた。</li> <li>・審判長注意の中で、試合における礼法、審判、選手に対する礼節を大切にしよう説いた。</li> <li>・選手宣誓(小学生男女)で「柔道ルネッサンスの心を忘れず……」を述べた。</li> <li>・下足の整理整頓を中学生部員(女子)が進んで行った。</li> </ul>	
	⑥秋田市民スポーツ祭柔道大会(11/9秋田市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長挨拶の中で、地元中学生の新聞投書(読者の声「五輪に寄せて」～ちよびり残念礼法守らぬ選手～)を紹介しながら、日本柔道のこころを考えさせる内容は感動をよんだ。</li> </ul>	

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
秋田	⑦第59回本荘由利秋季柔道大会(11/24由利本荘市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本を守り、相手を思いやる心を持って柔道に打ち込むことを説く。</li> <li>・会場を正しく使うことを確認し合う。</li> <li>・ルネッサンス標語入りのプログラムを作成</li> <li>・中高生、社会人(75名参加)が一体となって大会を盛り上げた。</li> <li>・会場(総合体育館)の使い方が良くなった。</li> <li>・セレモニー中、聞く態度を注意される場面があったのは残念だった。</li> </ul>	<p>〔課題〕</p> <p>*全県的に</p> <p>①マンネリ化にならぬように新しいアイデアが必要である。</p> <p>②ルネッサンス委員による委員会の開催が必要である。</p> <p>③A4、2ページ程度で、柔道ルネッサンスの意義やキャッチフレーズ、実践例など大会プログラムに一括に綴じるものを作って欲しい。</p> <p>④ルネッサンス運動(活動)の取り組みに地域・小中高により温度差がある。</p> <p>⑤指導者が範となるべき後ろ姿を率先して更に示すべきである。</p> <p>*担当地区・団体として</p> <p>①地区連盟と協議して、運動を改善しながら継続したい。</p> <p>②開会式で長々と説明するより、「プログラム〇〇ページにあるように・・・」などと伝える方が楽で効果的である。</p> <p>③当地区での大会規模が小さく、垂れ幕を張りたいが借りるのに迷っている。</p> <p>④他校の先生から取り組みについての意見が出てこない。</p> <p>⑤カレンダーだけでなく、学校や施設、会場等に掲示するポスターを充実させたいが手に入らない。</p> <p>〔次年度への提言〕</p> <p>①指導者がいかに美学をもって、日々指導するかが柔道ルネッサンス活動の進展のカギであると思うので、柔道関係者の通知、報告書などの余白を利用してでも協力をお願いし、浸透をはかることが重要である。</p> <p>②全体で連携を図っていく必要がある。</p> <p>③学習指導要領の改訂に伴い、中学校では武道が必修となる。施設や用具の関係もあり、多くの学校では男女を問わず全生徒が柔道に触れることになるだろうと思え、「柔道ルネッサンス」の精神もさらに社会へ広げていく機会になるのではないかと考える。柔道実施期間と合わせて、ポスターの校内掲示などを依頼してもよいのではないかと。</p> <p>(まとめると)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ルネッサンス委員会の開催(共通実践重点事項等の検討会)</li> <li>2. 社会貢献活動の推進</li> <li>3. ルネッサンスポスターの増刷</li> </ol>
	⑧第6回本荘由利地区少年柔道大会(12/14由利本荘市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、礼法を正しく行うこと。</li> <li>・柔道できることへの感謝の心、思いやりの心を持つことを啓発した。(77名参加)</li> <li>・ルネッサンス標語入りのプログラムを作成。</li> <li>・会場準備、後片付け、ゴミの持ち帰りを親子で実施しているので、ルネッサンスの意義が伝わってきている。</li> </ul>	
	⑨中体連柔道専門部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季件大会で募集した標語を、県新人大会のプログラムにも記載した。また、能代市山本郡大会の秋季新人大会など地区予選でもプログラム等に柔道ルネッサンスを印刷しているため、地区大会で目にした部会長等から柔道ルネッサンスに共感し、激励の言葉をいただく機会が増えた。</li> </ul>	
	⑩高体連柔道部会 (11/3-4,11/29-30,2/14秋田県立武道館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各三大大会会場に於いて、次のことを実践した。</li> <li>・ゴミの持ち帰りの徹底</li> <li>・参加選手、部員が協力して会場準備と後始末に励む</li> <li>・挨拶の励行</li> </ul>	
	⑪秋田市民寒稽古(1/10-13秋田市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「礼」を重視しようとの会長の年頭のあいさつ。</li> <li>・持参したMy雑巾で道場の清掃活動を行う。</li> <li>・稽古と共に「礼に始まり礼に終わる」「来たときよりも美しく」を実践した。</li> </ul>	
	⑫大北紅白大会(1/11北秋田市・北林道場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場にルネッサンスポスターを掲出。</li> <li>・試合前にルネッサンスについて説明した。</li> <li>・大会終了後、道場の清掃、整頓を参加者全員で実施。</li> </ul>	
	⑬第23回柔整旗争奪全県選抜小・中学校柔道大会(2/22秋田県立武道館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場にルネッサンス標語横断幕(3枚)を掲出。</li> <li>・トイレのスリッパの整頓を各人が心掛け、きれいだった。</li> </ul>	

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
秋田	⑭年間を通じて(横手支部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会あいさつや施設利用上の諸注意の中で「柔道ルネッサンス」活動の紹介とマナーアップを呼びかけた。</li> <li>大会プログラムに「柔道ルネッサンス精神」を掲載した。</li> <li>柔道スポ少人口が少なく、中学校の大会でほとんどの保護者が初めて柔道に接するというケースが多い。特に中学生の参加する大会での啓発・啓蒙活動に力を入れている。</li> </ul>	
	<p>第8回山形県少年健全育成柔道大会兼第5回全国小学生学年別柔道大会県予選大会(6/22)</p> <p>大会に参加している小学生(4・5・6年生)及び応援者(保護者等)</p>	<p>目的:柔道ルネッサンス活動の提唱 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大会プログラムへの柔道ルネッサンス基本理念の掲載及び柔道ルネッサンス横断幕の掲示</li> <li>山形県警察特別訓練隊柔道部監督(佐藤景三氏)による開会式でのスピーチを、特に保護者へのメッセージを中心に行った。</li> <li>本大会において、選手・監督はもとより応援者の態度等を総合して模範となる2チームに対し「柔道ルネッサンス賞(柔道ルネッサンストロフィー)」を授与した。</li> </ul>	<p>[成果]</p> <p>選手・監督だけでなく、応援者(特に保護者)の方々にも柔道ルネッサンス活動を広く理解してもらいよい機会となった。また、柔道ルネッサンスの考えのもとに一緒になって大会を盛り上げようとする機運が高まった。</p>
	<p>「べにばな国体記念」第16回山形県民スポーツフェスティバル 山形県少年少女スポーツ交流大会柔道競技(10/5)</p> <p>大会に参加している小学生(4年生以上)及び応援者約500名</p>	<p>目的:柔道ルネッサンス活動の提唱 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大会プログラムへの柔道ルネッサンス基本理念の掲載及び柔道ルネッサンス横断幕の掲示</li> <li>山形県警察特別訓練隊柔道部選手(岩淵 淳巡查)による開会式でのスピーチを、小学生に対してわかりやすくメッセージを送った。</li> <li>本大会において、選手・監督はもとより応援者の態度等を総合して模範となる2チームに対し「柔道ルネッサンス賞(柔道ルネッサンストロフィー)」を授与した。</li> </ul>	<p>[成果]</p> <p>大会に参加した選手はもちろん、家族や仲間等応援に来てくれた方々へも柔道を学ぶことの素晴らしさを伝えることができ、柔道ルネッサンス活動の啓発となった。</p>
山形	<p>スポーツ少年団(小学生) 鈴川柔道スポーツ少年団</p> <p>場所:山形市馬見ヶ崎川に架かる双月橋 4/13,10/26 06:00-07:00</p>	<p>[目的]:ボランティア活動(地域の清掃活動) 山形市のシンボルの河川であり、市民の憩いの場になっている馬身ヶ崎川に架かる学区内の四つの橋を清掃し、地域に奉仕することを目的とする。</p> <p>[内容] 鈴川・東・千歳の各小学校のスポーツ少年団が、分担して清掃した。 当鈴川柔道スポーツ少年団は、四橋のうち双月橋を担当し、橋の欄干の拭き掃除、歩道の拭き掃除、路側帯の堆積土砂の除去を行った。</p>	<p>[成果]</p> <p>真っ黒になったバケツの水と引き換えに、ピカピカきれいになった橋を見て、子どもたちも清々しい気持ちになった。</p> <p>[今後の方針]</p> <p>毎年、春と秋に計画[今年度・春は雨天中止]され、参加してきた。今後も積極的に参加していきたい。</p>

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
	大会に参加している小学生(4,5年生)及び応援者(3/1)	<p>〔目的〕:柔道ルネッサンス活動の提唱</p> <p>〔内容〕 大会において、選手・監督はもとより応援者の態度等を総合して柔道ルネッサンス活動の模範となる2チームに対し「柔道ルネッサンス賞」を授与した。賞品は柔道ルネッサンストロフィー</p>	<p>〔成果〕 選手・監督だけでなく、応援者の方々にも大会への参加意識を持ってもらい、一緒になって大会を盛り上げてもらうきっかけづくりとなった。また、柔道ルネッサンス活動を広く理解してもらうよい機会となった。</p>
	大会に参加している小学生(4,5年生)及び応援者約400名(3/1)	<p>〔目的〕:柔道ルネッサンス活動の提唱</p> <p>〔内容〕 山形県警察特別訓練隊柔道選手(伊藤壮宏巡查)による開会式におけるスピーチ</p> <p>子どもたちに対して、①挨拶をしっかりすること、②友達を大切にすること、③目標を持って頑張ること、などを柔道を通して学んだこれまでの経験を基にスピーチした。</p>	<p>〔成果〕 大会に参加した選手はもちろん、家族や仲間等応援に来てくれた方々へも柔道を学ぶことの素晴らしさを伝えることができ、柔道ルネッサンス活動の啓発となった。</p>



# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
福島			
茨城	茨城県柔道連盟総会(4/13) 参加者120名	目的:県内の各組織の指導的立場の方々に対して、柔道指導の在り方についての意見交換を通して柔道ルネッサンスの趣旨徹底を図るとともに、嘉納師範が提唱された柔道の原点を見つめ直そうとする意識の高揚を図る。  具体的内容:シンポジウム テーマ「柔道ルネッサンス 今 指導者としてできること」 県内の各支部のルネッサンスリーダー及び学識経験者によるシンポジウム。 柔道ルネッサンスの趣旨を踏まえ、指導者がどのようなことを意識して指導を行っていくべきなのかについて、各支部代表者による意見交換を行った。また、全国的な視点から、柔道ルネッサンス活動について学識経験者のお話を伺った。	県内の各組織で柔道を指導する代表的なお立場の方々の柔道ルネッサンス活動に対する意識の高揚につながった。 今後も継続していく。県柔道連盟会誌に今回のシンポジウムの様子を掲載する。
	昇段審査(5/25坂東市、6/8土浦市、8/3日立市、9/7鹿嶋市、9/15常陸太田市) 各日80名前後	目的:講道館柔道を学ぶ意義目的を理解させる。 内容 1. 柔道ルネッサンススローガン幕 掲出 2. 精力善用、自他共栄の柔道を学ぶ目的を説明 (1) 礼法と礼儀正しい人になること (2) 正しい柔道を学び強い人になること (3) 弱い人、困っている人を助けられる柔道人になること	審査会終了後、帰る時に「ありがとうございました」と礼儀正しく挨拶ができるようになっている。 今後も継続的に、昇段審査ごとにルネッサンス活動の意義や柔道の究極の目的について講義し、意識の高揚を図る。 本県においては、規模の大小に関わらず全ての柔道大会にスローガン幕の掲出と短時間の講義を行っている。
	強化練習会(8/11) 指導者・保護者100名  指導者講習会(9/21) 受講者90名	目的:講道館柔道を学ぶ意義目的を理解させる。 内容 1. 柔道ルネッサンススローガン幕 掲出 2. 精力善用、自他共栄の柔道を学ぶ目的を説明 (1) 礼法と礼儀正しい人になること (2) 正しい柔道を学び強い人になること (3) 弱い人、困っている人を助けられる柔道人になること	柔道ルネッサンスの視点からも、正しい柔道、技の指導法、安全指導等について活発な意見や質問があった。  指導者としての自覚を高めることができた。  今後も継続的に実施していく。
栃木	[県柔連主催行事] ①ジュニア大会 ②国体県予選会 ③県選手権大会 ④審判講習会	開会式における会長あいさつ時に、柔道ルネッサンス活動に関する講話または一言。  県ルネッサンス特別委員会委員長による、県内柔道連盟支部・団体役員に対する啓発	開・閉会式がマニュアル化され実施できるようになった。 観客のルネッサンス活動に対する理解が深まった。
	[県内支部組織] 県柔連6支部の開催する、支部内大会、昇段審査会	支部内柔道ルネッサンス担当者による、支部会員・選手・保護者に対する講話。	ここ数年、講話等の実施が徹底された。

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
栃木	[県柔道少年団] ①全国小学生学年別県予選会 ②県小学生学年別選手権大会 ③県小学生錬成大会 ④全国少年県予選会	開会式における少年団団長の柔道ルネッサンス活動に関する講話。 柔道ルネッサンス横断幕の掲揚。	保護者の試合場付近への立ち入りが無くなった。(ルール遵守) 会場のゴミの散乱が少なくなり綺麗になった。 保護者の柔道ルネッサンス活動への理解が深まった。
	[中体連] ①春季体育大会 ②総合体育大会 ③新人大会	県中体連ルネッサンス担当者による、教員・選手・保護者に対する講話	あいさつが励行されるようになった。
	[高体連] ①総合体育大会 ②全国大会県予選 ③新人大会 ④選手権県予選	県高体連ルネッサンス担当者による、教員・選手・保護者に対する講話	会場の整理・整頓等、マナーの顕著な向上が見られるようになった。 指導者・部員・保護者の柔道ルネッサンス活動への理解が深まった。
群馬	指導者 保護者 小学生 中学生 高校生	目的:柔道の理念の啓発  内容: ○『ぐんま柔道新聞』のコラム欄に柔道指導者に対する嘉納師範の柔道の啓発的内容を掲載(年2~3回発行) ○県柔道連盟役員名簿の裏表紙に、嘉納師範の遺訓、及び柔道ルネッサンスの標語を掲載し啓発(4月~) ○暑中稽古の開会行事にて、委員長が柔道ルネッサンス活動の主旨解説を行う(8月23日、ぐんま武道館、小学生・中学生・保護者・指導者対象) ○中学大会開会式にて県柔連役員が柔道ルネッサンス活動の解説と啓発を行う(5月) ○小・中・高校の各大会時にルネッサンス横断幕掲示 ○道場連合会大会の会長挨拶にルネッサンス活動の啓発内容を入れる。パンフレットに同様の内容を掲載。	成果 様々な場面で、柔道の指導の方向性や、活動方針などの基本的事柄についての話題が多くなっている。  今後の課題 次回以降の『ぐんま柔道新聞』の編集に際し、「ルネッサンス欄」の開設を検討中
埼玉	活動団体:埼玉県大里郡市柔道連盟(会長:奥平力三、会員100人) ①明道館寄居警察署柔道教室 ②寄居町男衾柔道場 週に1回活動	目的:人の役に立つことの喜びを身につけさせるとともに、公德心の育成を図る。  内容:奥平会長指導の下に、柔道ルネッサンス運動の一環として、毎週1回、地域の道場周辺のゴミ拾いや、道場近くの私鉄駅の公衆トイレの清掃等を実施している。	(成果) 常日頃から、奥平会長が、柔道の稽古で強くなることも大切であるが、柔道で培った心と身体を使って人の役に立つことの大切さを力説しており、最近では柔道をしている子供たちの行動を近所の人たちも温かく見守っている。 若い母親たちも、このうわさを聞いて「柔道は社会に役立つ人づくり」であることの良さを知り、年少組の入門者が少しずつ増加している。

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
埼玉	<p>埼玉県小学生学年別柔道選手権大会(6/5埼玉県立武道館)582人参加</p>	<p>目的:柔道を通して社会に役立つ人づくり</p> <p>蓮見弘埼玉県柔道連盟会長が、あいさつの中で柔道ルネッサンス運動にふれたうえで、なぜ柔道をするのか、柔道をする事によって多くのことを学ぶことを説かれた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 礼を修め(試合前後の礼法をしっかりやろう)</li> <li>2. 技を磨いて強くなる。(互いにしっかり組み合わせ基本となる業を身につける)</li> <li>3. 柔道を通してすばらしい強い身体をつくる。(健康な身体をつくる。)</li> <li>4. 思いやりの心豊かな心ころを養う。(人間として必要な心と胆力を練ること)</li> </ol> <p>具体的に下記の三項目を実施することを強調した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 返事(大きな声でしっかり「ハイ」と返事をしよう)</li> <li>2. あいさつ(道場出入りの礼・大きな声でのあいさつはお互いに気持ち良いもの)</li> <li>3. 後始末(次に利用する人のために、トイレのスリッパの整頓・帰りの座席の清掃・更衣室をきれいに等)</li> </ol>	<p>埼玉県では毎回どんな大会でも、左記「返事・あいさつ・後始末」を遵守するように、指導・推進している。</p> <p>最近では各柔道会場でも、トイレのスリッパや観覧席のゴミも少なくなって、ゴミの持ち帰りも徹底してきた。</p> <p>この習慣が、柔道会場だけでなく、家庭においても実行できて習慣化するまで指導してゆく方針である。</p>
	<p>川越市柔道連盟(会長・荻野正雄 会員約200人)</p> <p>川越市武道大会(5/18)</p> <p>川越市民体育祭柔道大会(9/7)</p>	<p>目的:柔道ルネッサンスについての講話</p> <p>内容:</p> <p>左記団体は柔道ルネッサンス運動をよく理解し、柔道を通して社会に役立つ人づくりを目指して活動しており、「大きな声であいさつを」「来たときよりも美しく」を中心に推進している。大会を通して模範的な行為ができるように指導し、柔道の振興に努めている。</p>	<p>(成果)</p> <p>保護者からは、子供たちが日常生活の中であいさつや、マナーが良くなったとの声が聞かれるようになった。</p> <p>(今後の方針)</p> <p>これからもこの運動を更に啓蒙推進し、「柔道をやっている子どもたちは、さすがどこか他の子どもたちとは一味違う」と言われるまでに指導したい。</p>
	<p>北葛飾郡柔道連盟(会長・山崎勇 会員120人)</p> <p>草加市・吉川市・三郷市・幸手市・杉戸町の各柔道大会</p>	<p>活動:各種大会において柔道ルネッサンス運動の啓発実施</p> <p>目的:柔道少年たちの公德心の醸成</p> <p>内容:</p> <p>左記団体は、各市町主催の柔道大会や昇級審査会等を通して、横断幕の柔道標語「礼は美しい柔道の心」「来たときよりも美しく」を掲げて、標語の意義について会長があいさつの中で平易な言葉で、柔道ルネッサンス運動について説明推進している。</p>	<p>柔道ルネッサンス運動について、繰り返し話すことによって啓発し、参加者が実践するようになってきた。</p> <p>会場玄関の靴の整理整頓や率先してゴミの回収をしている児童生徒が、多く見られるようになった。今後は保護者へもこの運動を広げ地域全体への波及に努力したい。</p>
千葉	<p>関東高校県予選会(5/10-11)</p> <p>県高校総合体育大会(6/15,21,22)</p>	<p>目的:マナー向上、会場のクリーン化</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各大会においてプログラムに「柔道ルネッサンスの趣旨の実現に向けて(お願い)」を掲載</li> <li>○県高体連ルネッサンス担当者による教員、選手、保護者、並びに応援者に対する講話</li> <li>○大会終了時に参加者全員で会場等のクリーン化(畳上げ、清掃、ゴミの持ち帰り等)</li> </ul>	<p>毎大会行っているため、ルネッサンス活動が定着し、マナーも向上している。</p> <p>今後も教育の一環としての柔道ととらえ、活動していきたい。</p>

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
	全国小学生学年別県予選会(6/8) 県少年大会(9/7) 県体重別選手権大会(6/29高校、大学、一般) 県ジュニア大会(5/25高校、大学)	目的:マナー向上・会場のクリーン化 内容: ○開会式における会長あいさつ時に、柔道ルネッサンス活動に関する講話 ○大会終了時に参加者全員で会場等のクリーン化(畳上げ、清掃、ゴミの持ち帰り等)	柔道ルネッサンス活動についての理解者が増えている。 今後も積極的に活動していきたい。

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
千葉	高校県新人大会(11/29-30千葉県武道館) 県高校選抜大会(1/13千葉県武道館)	目的:マナー向上・会場のクリーン化 内容: ○各大会においてプログラムに「柔道ルネッサンスの趣旨の実現に向けて(お願い)」を掲載 ○県高体連ルネッサンス担当者による教員・選手・保護者並びに応援者に対する講話 ○大会終了時に参加者全員で会場等のクリーン化(畳上げ、清掃、ゴミの持ち帰り等)	毎大会行っているため、ルネッサンス活動が定着し、マナーも向上している。 今後も教育の一環としての柔道ととらえ、活動していきたい。
	千葉県民体育大会(10/26高校生、一般) 県選手権大会(12/7中学生、高校生、一般) 全日本県予選会(2/1一般) 千葉県武道館	目的:マナー向上・会場のクリーン化 内容: ○開会式における会長あいさつ時に、柔道ルネッサンス活動に関する講話 ○大会終了時に参加者全員で会場等のクリーン化(畳上げ、清掃、ゴミの持ち帰り等)	柔道ルネッサンス活動についての理解者が増えているように思う。 今後も積極的に活動していきたい。
神奈川	有力高校から選抜した女子生徒20名 期日:3/15 9:00-17:00 場所:神奈川工科大学	[目的] 県体育協会の医科学サポートシステムを活用し、科学的見地から競技に必要な体力測定及びモチベーション判断等を行い、競技力向上を図るとともに、普段、試合場でしか顔を合わせない他校生徒達との融和団結を図る。 [具体的内容] 講師 医科学サポート部会員 小グループに分かれ競技力向上に必要と思われる体力(無酸素パワー)、筋力(全身反応時間、膝伸展・屈曲筋力等)の測定、心理的競技能力診断検査及び体脂肪測定を実施。	[成果] 参加者は県内強豪校から選抜された女子生徒であり、今後インターハイや国体に出場が期待される選手である。現時点での自己の体力を測定してもらおうと真剣に取り組んでいた。成果はすぐに表れるものではないが、選手の取り組み姿勢を目の当たりにし必ず競技力の向上に繋がると確信した。 また、ライバル校ではあるものの大会会場では決して見ることのできない普通の女子高生としての一面も覗かせており、他校との親睦も大いに深めていた。 [今後の方針] 今回の測定結果を元に競技力向上に必要と思われるフィードバック及びトレーニング方法を学び、各学校に持ち帰り実施すると共に定期的に測定を行いその成果を確認する。

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
山梨	<p>1. 小学生 第28回全国少年大会県予選会(3/9) 第33回県下少年柔道大会(5/11) 第5回全国小学生学年別大会県予選会(6/8)</p> <p>2. 中学生 第54回柔道選手権大会(6/22) 総合体育大会(7/29)</p> <p>3. 高校生 関東高校県予選(8/14) 高校総体体重別選手権兼国体選考会(4/20)</p> <p>4. 一般 第61回県体育祭り柔道競技</p> <p>主たる場所:小瀬スポーツ公園武道館</p>	<p>目的:柔道ルネッサンスの趣旨の徹底と実践 -「怒」の養成-</p> <p>内容: 各対象のレベルに合わせて実施した。 小学生は、少年部指導委員会(米山徳彦委員長)、中学生は、中体連丹沢一活柔道部委員長、高校生は高体連・山本司委員長、一般は県柔連・長田定光会長を中心として、対象に合わせて柔道ルネッサンスの趣旨徹底を図った。</p> <p>(要望) 1. 柔道ルネッサンス標語カレンダーについて、毎年、作成配付願いたい。 2. 「少年少女柔道手帳」について、発行が遅れたため、不徹底だったことを反省している。来年度は早めに発行し、できれば見本を指導者に配布いただければ有難い。</p>	<p>(成果) 1. お互いのあいさつ、特に柔道場の出入りの礼、道場内での服装、決められた色帯の着用(担当:梶原敏弘副会長)は、100%近く徹底できた。 2. 脱衣場、道場等の清掃、ゴミの持ち帰り、武道館内のトイレの履物(スリッパ)等をきちんと揃えることは、武道館に出入りする多くの方々から絶賛を博す状況に至っている。</p> <p>(今後の方針等) 1. 柔道ルネッサンスの趣旨は、序々にではあるが、かなり底辺まで徹底しつつある。より徹底するためには先ず指導者がよりよく理解し、子どもたちに指導することが肝要と思える。県柔連のホームページ等を有効活用することを考えていきたい。 2. 大会、研修会、講習会における開・閉会式で挨拶を戴く県柔連関係者、来賓、講師等から、このことについて触れて戴くこと</p>
東京			
新潟	<p>新潟県高校総合体育大会(約300人) 全国教員大会(7/20、出場選手他約300人) 北信越国体ブロック予選大会(8/24、出場選手他約100人)</p> <p>場所:新潟市北区 豊栄総合体育館</p>	<p>目的:柔道ルネッサンス運動の啓発</p> <p>内容: ○柔道ルネッサンスの横断幕の掲出 ○柔道ルネッサンスキャッチフレーズのプログラムへの掲載</p>	<p>(成果) ○本活動の啓発が図られた。 ○大会会場でのゴミの後始末など大変向上した。</p> <p>今後も継続して推進していく。</p>
新潟	<p>○BSN高等学校柔道選手権大会(県新人戦) ○BSN中学校柔道選手権大会 ○BSN小学生柔道選手権大会 出場選手他約500人 11/1-2鳥屋野総合体育館</p> <p>○第31回全国高等学校選手権大会新潟県予選会 出場選手他約300人 1/17鳥屋野総合体育館</p>	<p>[目的]:柔道ルネッサンス運動の啓発</p> <p>[内容] ○柔道ルネッサンスの横断幕の掲出 ○柔道ルネッサンスキャッチフレーズのプログラムへの掲載</p>	<p>[成果] ○本活動の啓発が図られた。 ○大会会場でのゴミの後始末など大変向上した。</p> <p>[今後の方針] ○柔道ルネッサンス活動の継続推進 ○第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」に向けた諸準備</p>

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
長野			
富山	<p>常日頃、大会ごとに、柔道ルネッサンスについてポスターを掲示するとともに、会長や理事長が挨拶や諸注意の中で柔道ルネッサンスの趣旨を述べているが、本年度は、富山県内の著名人による講演活動を行った。</p>		
	<p>第1回富山県柔道連盟少年柔道教室(4/20富山武道館) 指導者30名、受講者約200名(小学生)</p>	<p>講師:楠 一雄 七段(強化部長) ○柔道の基本動作、基本練習の心構え、姿勢、態度、礼法等、相手(弱者)への思いやり、環境整備と後かたづけについて注意し、徹底を図った。 ○指導者に対しては、ただ強くすることだけが指導ではなく、人間形成をベースとした心の育成の指導を説いた。</p>	
	<p>富山県高校春季選手権大会(4/21富山武道館) 参加選手300名余り(高校生男女)</p>	<p>講師:橘川謙三 七段(県会長) ○試合で勝つことは、決して強さだけで勝つことではなく、心の強さや優しさあってこそ、はじめて自分に勝ち、相手に勝てることを説き、負けたことに対しては審判のせいや、相手の名前をのせいにしない、素直に自分の負けを認めて次の闘いに挑んでいくこと、そして柔道を通して身につけたマナーや考え方を説いた。</p>	
	<p>県柔連第1回昇段審査会(5/11高岡武道館) 受講者350名余り</p>	<p>講師:橘川謙三 七段(県会長) ○初段は初段として、二段は二段として、それにふさわしい実力、形、心構えを表してほしい。そして「一本を取る柔道」を目指して修行する姿を見せてほしいと激励の挨拶を行った。</p>	
	<p>富山県高校総体柔道競技(6/7小杉総合体育センター) 参加選手400名余り(高校生男女)</p>	<p>講師:橘川謙三 七段(県会長) ○生活の中で立場の弱い人を助けてあげること。例えば電車の中で、お年寄りの方に席を譲ってあげる勇気を持つことの大切さを説いた。</p>	
	<p>全国小学生学年別柔道大会県予選会(6/15富山武道館) 参加選手300名余り(小学生5・6年生男女)</p>	<p>講師:中村 彰 六段(県理事長) ○「グローバル柔道スピリッツ」について世界の柔道「精力善用」「自他共栄」について話す。 ○人の話を聞く姿勢や集中力の大切さを説く。</p>	
<p>富山県体重別選手権大会・県民体育大会(国体選手選考会)(7/6高岡武道館) 参加選手200名弱(成年男女・少年男女)</p>	<p>講師:吉見 浩二 五段(高岡法科大学准教授) ○富山県の各階級の最高峰の柔道選手として、練習をする場所取りなどマナーの悪さについて「君たちははずかしくないのか」と注意を促す。 ○会場のゴミの後始末、ペットボトルや空き缶の始末、トイレのスリッパの置き方等のほんの少しの事で人間の評価が違ってくる。本当に強いという意味が理解できるよう願を込めて諭す。</p>		

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
富山	富山県中学校柔道選手権大会(7/21小杉総合体育センター)参加選手400名余り(中学生男女)	講師:中村 彰 六段(県理事長) ○「精力善用」「自他共栄」の定義や意味について分かりやすく丁寧に諭す。 ○挨拶の仕方ひとつするにも相手の受ける印象が全然違って受け取る事があることを諭す。 ○自分の思いや誠意を相手に伝えること(コミュニケーション)の難しさを諭す。	



# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
石川	第16回石川県高等学校春季柔道大会(4/27石川県立武道館) 県内高校生約200名 各高校関係者、観覧席の保護者等	<p>目的:柔道ルネッサンスの活動についての啓発</p> <p>内容:スピーチによる高校生、各高校関係者、保護者等への啓発 ○元全日本強化選手で、大学、実業団と各種の大会で活躍された鍛冶宏美先生から、自身の経験から学んだことをもとに、高校生へメッセージを送っていただいた。</p>	<p>スピーチ活動を通して、柔道に取り組む姿勢や柔道ルネッサンスの活動について啓発することができた。 今後も高体連の大会で柔道ルネッサンスに関わる活動に取り組む予定である。</p>
	石川県高等学校総合体育大会柔道競技(第1日目)開会式(6/5石川県立武道館)県内高校生約250名 各高校関係者、観覧席の保護者等	<p>[目的]:柔道ルネッサンスの活動についての啓発</p> <p>[内容] スピーチによる高校生・各高校関係者・保護者等への啓発 平成19年度全国高校総合体育大会男子73kg優勝、秋田国体準優勝メンバーの森下純平君(県立鶴来高校)に日頃自分が心がけていることについて発表してもらった。</p>	<p>[成果] スピーチ活動を通して柔道ルネッサンス活動の趣旨等について高校生・各高校関係者・保護者等に対し啓発できた。</p> <p>[今後の方針] スピーチ活動については今年度、県高体連柔道部として県高等学校春季大会について4回目。今後も継続して実施していく予定である。</p>
	石川県高等学校新人大会開会式(11/13石川県立武道館)県内高校生約200名 各高校関係者、観覧席の保護者等	<p>[目的]:柔道ルネッサンスの活動についての啓発</p> <p>[内容] スピーチによる高校生・各高校関係者・保護者等への啓発 平成20年度、大分国体出場メンバーの吉田純平君(県立津幡高校)に日頃自分が心がけていることについて発表してもらった。</p>	<p>[成果] スピーチ活動を通して柔道ルネッサンス活動の趣旨等について高校生・各高校関係者・保護者等に対し啓発できた。</p> <p>[今後の方針] スピーチ活動については今年度、県高体連柔道部として県高等学校春季大会、県高校総体について3回目。今後も継続して実施していく予定である。</p>
	石川県高等学校柔道選手権大会開会式(1/25石川県立武道館)県内高校生約200名 各高校関係者、観覧席の保護者等	<p>[目的]:柔道ルネッサンスの活動についての啓発</p> <p>[内容] スピーチによる高校生・各高校関係者・保護者等への啓発 平成20年度、埼玉インターハイ個人66kg級優勝の小寺将司君(県立津幡高校)に日頃自分が心がけていることについて発表してもらった。</p>	<p>[成果] スピーチ活動を通して柔道ルネッサンス活動の趣旨等について高校生・各高校関係者・保護者等に対し啓発できた。</p> <p>[今後の方針] スピーチ活動については今年度、県高体連柔道部として県高等学校春季大会、県高校総体、県高校新人大会について4回目。今後も継続して実施していく予定である。</p>

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
石川	<p>各種大会等</p> <p>石川県内の指導者及び小学生から高校生までの競技者</p>	<p>案により、選手の育成、普及発展、一本を競い合うダイナミックで美しい柔道をめざし、次の2つの賞をつくり、指導者や選手を表彰している。</p> <p>(1)柔無涯賞(平成13年度～) 10年以上選手の育成、普及発展に尽力されている方を表彰。</p> <p>(2)柔あすなる賞(平成16年度～) 小学生・中学生のうち県内外の各種大会において最も活躍した選手男女各1名に対し、明日に大きく羽ばたくことを願い表彰。</p> <p>(1)柔無涯賞 坂井 幸一(津幡南中学校教諭) ・飯田達也(平成20年全中大会60kg級3位)の育成 ・長年にわたる中学生等の指導と全国等での入賞者の育成 竹野 敬治(竹野道場) ・飯田達也(平成20年全中大会60kg級3位)の育成 ・小中学生等の指導と全国等での入賞者の育成</p> <p>(2)柔あすなる賞 中学生の部 長永 喜仁(北辰中学校)H20全中大会81kg級3位 渡辺宗一郎(北辰中学校)H20全中大会73kg級3位 飯田 達也(津幡南中学校)H20全中大会60kg級3位 宮川 拓美(北辰中学校)H20全中大会52kg級優勝</p>	<p>[成果] 選手の育成や競技力向上、柔道の普及に繋がっているものと思われる。</p> <p>[今後の方針] 今後も教育・普及活動の一環として継続していく予定である。</p>
	<p>全国小学生学年別柔道大会石川県予選(6/8石川県立武道館)</p> <p>県内の柔道教室生 県内の少年柔道関係者 観覧席の保護者・関係者 約380人</p>	<p>[目的]:柔道ルネッサンスの活動についての啓発</p> <p>[内容] 大会開会式の前に参加者全員を整列させ、山本少年団会長が選手、観客を含めた来場者に柔道の真の目的である「精力善用」「自他共栄」の意味を伝え、柔道を通じての人間教育と社会貢献を実践するよう伝える。 小学生には、試合に臨む時の情熱や勇気を持ち方の重要性を説くとともに礼節を重んじることを指導する。 応援者の保護者等の関係者には勝負にこだわらず、勝者も敗者も讃え、選手とともに真の柔道の目的を体得するよう伝える。</p>	<p>会場の全員が柔道ルネッサンスの活動について再認識し、教育的効果の高揚がみられた。</p>
福井			
指導者資質向上対策事業			
	各地区審判講習会(4月県内3区)	審判法の講習だけでなく、柔道ルネッサンスに関することも確認した。	継続実施
	静岡県中央形講習会(6/7静岡県武道館) 講師:小野沢弘史先生)	受講者は69名で主に高段の指導者を対象とした講習会で、参加者は極めて熱心な受講態度であった。	

## 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
静岡	少年講習会(12/21静岡市北部体育館)講師:金野潤先生、腹巻宏一先生、松田基子先生	3人の先生方からの講話と技術講習が行われた。参加したのは県内の小学生や指導者約650名で、先生方の実体験に基づいた講習会が行われた。	
	安全指導講習会(2/8静岡県武道館)講師:佐藤幸夫先生	多くの少年柔道の指導者を対象とした。少年への指導法や心構え、事故への対応などの話をしていただいた。参加者は極めて熱心な受講態度であった。	
	国際ルール審判講習会(2/8静岡県武道館)講師:安齊悦雄先生)	改正された国際ルールに関する解説が行われた。	継続実施

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
静岡県	競技者対策事業(特にジュニア)		
	第20回マルちゃん杯柔道大会柔道教室実施 (5/31)講師:佐藤全柔連副会長、中村旭化成柔道部監督、越野国際武道大学監督	500人の参加者があり、佐藤先生の講話や越野先生と中村先生の実技指導を受けた。	
	東海ブロック少年柔道競技者育成事業(第6回柔道少年強化合宿、7/19-21)	参加者は熱心に取り組んだ。	
	第5回全国小学生学年別柔道大会柔道教室 (8/23)	溝口紀子先生(静岡文化芸術大学)の講話と薪谷翠先生(ミキハウス)の技術指導が行われた。約450名の参加者は熱心に取り組んだ。	
	第5回全国小学生学年別柔道大会にて意見発表 (8/24)	開会式直後に大会参加者に向けて静岡県内の2名から柔道に取り組む決意を述べた。	
	県下小学生強化練習会(12/14静岡市北部体育館)	地区の代表選手が参加した。参加者は熱心に練習に取り組んだ。	
	その他広報普及活動		
	柔道勧誘ポスター作成(4年目) 3月末	具体的な数値データは無いがそれなりには効果があったと思われる。	
柔道啓蒙用ポスター作成(4年目)3月末	形の名称を紹介する。具体的な数値データは無いがそれなりには効果があったと思われる。		
愛知県	対象:公立小中高校の教員を指し、教員採用候補者選考を受験し、将来柔道部顧問となることを強く希望している者  2/23~7/16(計10回) 津島市錬成館	目的:公立小中高校で柔道部活動の指導を強く希望し、教員採用候補者選考を受験する者に対する指導を行う。 内容:研修会 教員採用選考に向けた計画的な勉強に取り組む意欲や心構えを育てる。	(成果) 受験者が真剣に取り組んでおられるので、多くの合格者が出ることを祈念している。 大変ご苦勞なことであるが、先生方のご努力に感謝し、継続していただけることを願います。
	月次試験(昇段試験)初級者対象 (4/6,5/4,6/1,7/27,8/3,9/14)	目的:月次試験を受験するにあたっての諸注意や正しい柔道の普及並びに受傷事故の発生を防ぐ。 内容:初めて受験しようとするには、通常毎日1時間修行するとして最低限度概ね中学生及び女子は6ヶ月、高校・一般は4ヶ月は必要と定め、特に柔道は個人差が大きいので、その基礎教養を受けても試合に対する技量差が必ず出る。未熟と認めた者には絶対に受験させない。	(成果) 左記の取り決めにより、怪我人を減らしているが、毎月2~3名は出ている(ほとんどは軽いもの)  (今後の方針) 今後とも、初級者に対して注意を徹底して、怪我人の数の減少につとめたい。そのことが柔道人口の減少をなくす要因でもあろう。

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
岐阜	東海ブロック小学生強化指定選手(合宿) 7/19-21 岐阜メモリアルセンター	目的:将来、オリンピックなどの国際大会で活躍できる競技者や次世代を担う青少年の健全な育成、国際社会に貢献できる人材を育てる。 内容:東海ブロック 指導者40名、小学生強化指定選手96名の参加。 県普及委員長・柔道ルネッサンス委員長による「柔道ルネッサンス」講話。(礼法、感謝する気持等)	(成果) 合宿の時間の経過とともに、大きな声での挨拶、返事が返ってきた。また、練習の中でも礼法の向上がうかがえた。  (今後の方針等) 普段の生活の中でも大きな声での挨拶、返事等が続けられるよう、継続して啓発運動を行いたい。
三重	県内柔道関係者等	目的:柔道・柔道ルネッサンスに対する動議付け  内容 各地区理事長を通じ、柔道関係者に柔道ルネッサンスカレンダーを800枚配布した。	(成果) 非常に好評であり、柔道に対する興味が持たれ、また、柔道ルネッサンスに対する意識、理解が深まった。  (今後の方針) 今後も継続してカレンダーを配布したいと考えており、さらに違った形でも興味が持たれるような方法を考えていきたい。
	各試合会場 県内柔道関係者等	目的:柔道ルネッサンスに対する理解と実践・行動  内容:啓発・広報活動(大会あいさつ、開会式での諸注意でマナーアップの呼びかけ)	(成果) 柔道ルネッサンスの名称が認知されるとともに運動の趣旨の理解も広まり、会場におけるゴミの持ち帰り、トイレの使用等のマナーが良くなってきている。  (今後の方針等) 今後も継続して啓発・広報活動に取り組む。
	三重県少年柔道大会(6/8三重県営サンアリーナ) 小学生(3・4・5・6年生)、監督、指導者、審判員、保護者	目的:柔道ルネッサンスに対する意識付け並びに柔道の理念である「精力善用」「自他共栄」の教養を目的とする。  内容: ○柔道ルネッサンス横断幕の掲出 ○プログラム、審判会議資料に柔道ルネッサンス標語を掲載 ○大会広報委員長による柔道ルネッサンス、柔道の理念についてスピーチを行った。	(成果) 選手・監督・指導者・審判員及び応援者は、柔道ルネッサンスの活動について再認識し、教育的効果がみられた。  (今後の方針) 今後も機会あるごとに柔道ルネッサンス啓発活動を展開したい。
	津市民体育大会柔道競技(10/8三重武道館) 対象:小学生、中学生、高校生、社会人、監督、指導者、審判員、応援者	[目的]:柔道ルネッサンスに対する理解と実践・行動  [内容] 審判長(県強化委員長)から試合場の注意終了後、柔道ルネッサンスについてスピーチを行った。	[成果] 柔道ルネッサンスの名称が認知されるとともに運動の趣旨の理解も広まり、会場におけるゴミの持ち帰り、トイレの使用等のマナーが良くなってきている。 [今後の方針] 今後も継続して啓発し、広報活動に取り組む。
三重	平成20年度全日本柔道連盟主催柔道教室(11/9三重武道館)講師:朝飛 大先生 対象:小学生、指導者、保護者等	[目的]:柔道ルネッサンスに対する意識付け並びに柔道の理念である「精力善用」「自他共栄」の教養を目的とする。  [内容] 講師の朝飛大先生から柔道ルネッサンスについて話をしていた。	[成果] 選手・指導者・保護者等は、柔道ルネッサンスの活動について再認識し、教育的効果の高揚がみられた。  [今後の方針] 今後も講師の方をお招きして柔道ルネッサンス啓発活動を展開したい。

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
	(12/13三重武道館) 県内柔道関係者、団体等	〔目的〕：柔道ルネッサンスに対する動機付け 〔内容〕 平成21年版 柔道ルネッサンスカレンダーを80枚配布した。	〔成果〕 非常に好評であり、柔道に対する興味を持たれ、また、柔道ルネッサンスに対する意識、理解が深まってきている。 〔今後の方針〕 今後も継続してカレンダーを配布したいと考えており、さらに違った形でも興味を持たれるような方法を考えていきたい。

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
三重	三重県少年柔道大会(3/15三重武道館) 対象:小学生、監督、指導者、審判員、応援者	〔目的〕:柔道ルネッサンスに対する意識付け並びにマナーアップ 〔内容〕 ○柔道ルネッサンス横断幕の掲出 ○プログラム、審判会議資料に柔道ルネッサンス標語を掲載 ○三重県柔道協会会長が柔道ルネッサンス、マナーについて等を含め挨拶を行った。	〔成果〕 選手、監督、指導者、審判員及び応援者は、柔道ルネッサンスの活動について再認識し、教育的効果の高揚がみられた。 〔今後の方針〕 今後も機会あるごとに柔道ルネッサンス啓発活動を展開したい。
滋賀			
京都			
大阪			
兵庫			
奈良			
和歌山			
鳥取			
島根	小学生から一般までのすべての競技者	目的:県内柔道競技者に対して、柔道家としての在り方や生き方、考え方について考える機会をつくる。 内容:小村和紀・島根県柔道連盟会長が、小学校から中学校・高等学校・一般とすべての競技者が対象となるこの大会の開会式で、柔道を志すものの心構えや柔道に取り組む姿勢などを講演した。	数値的な成果を出すことはできないが、小村会長の思いが後に島根県柔道を支えていく柔道家の心に響き、彼らが柔道のすばらしさを感じ、そして伝えることができる人材に育っていくことを期待している。 (特記事項)この大会のほかにも、それぞれの大会で同様の趣旨・内容で柔道のすばらしさを伝えていく活動を数多く行っている。
岡山			
	県連主催各大会、少年団・中学・高校各大会等	目的:会場使用マナー向上への取組みによるルネッサンス活動の理解浸透 内容: ○柔道ルネッサンスの標語横断幕の掲示・大会中 ○場内アナウンスによる会場使用マナー及びゴミの持ち帰りの呼びかけ ○大会終了後の整理整頓及び清掃協力	(成果) ○選手・保護者等関係者のルネッサンス活動への理解及びマナー意識の向上 ○大会会場使用に対する選手の意識向上と清掃活動への積極的参加 引き続き、地道な各活動を継続

# 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
広島	<p>県連主催各大会、少年団・中学・高校各大会等 (10月～3月)</p>	<p>[目的]:会場使用マナー向上への取り組みによるルネッサンス活動の理解浸透</p> <p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○柔道ルネッサンスの標語横断幕の掲示・大会中</li> <li>○監督会議・代表者会議での周知</li> <li>○場内アナウンスによる会場使用マナー及びゴミの持ち帰りの呼びかけ</li> <li>○大会終了後の整理整頓及び清掃協力</li> </ul>	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○選手・保護者等関係者のルネッサンス活動への理解及びマナー意識の向上</li> <li>○大会会場使用に対する選手の意識向上と清掃活動への積極的参加</li> </ul> <p>[今後の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き地道な各活動を継続</li> </ul>



## 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
山口			
香川			
徳島			
愛媛			
高知			
福岡			
佐賀			
長崎			
熊本			
大分	<p>大分県内全域 大分県内の柔道場に通う小中学生全員 9/7 9:00～11:00</p>	<p>目的:柔道を志す少年に対し、ゴミ拾いを通じてボランティア精神を醸成すること。</p> <p>内容:大分県が実施し、大分県民全員に参加を呼びかけている「ゴミ0の日」に合わせて、大分県少年柔道協会の提案により、県内の道場に通う小・中学生が全員ゴミ拾いに参加した。</p>	<p>(成果) 大分県柔道連盟としてではなく、下部組織の少年柔道協会が提案した活動であり、柔道ルネッサンス活動がトップダウンの活動からボトムアップの活動へ変化しつつあることが実証されたことは、意義のある活動だったと考える。</p> <p>(今後の方針等) 単にゴミ拾いであるとはいえ、下部組織の提案ということでは非常に評価すべきであり、今後は、他の下部組織からもこういった自発的なボランティア活動の展開を推し進める機運が欲しい。</p> <p>(意見) 各都道府県ルネッサンス委員からの年間報告と併せて、ルネッサンス委員会が柔道関係者による小さな親切等の報告を募集し、その中でも好事例があれば、各県の柔道連盟に小さな親切事例を配信するなどして、ルネッサンス運動の機運を高めて欲しい。</p>

## 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
	<p>大分県柔道錬成大会に参加した幼稚園・小学校の生徒 大分県柔道錬成大会を応援に来た父兄及び柔道愛好家 5/11 大分県立総合体育館</p>	<p>目的:柔道大会に参加した選手と応援に来た父兄等が一体となって、会場の美化活動を推進し、柔道を基本とした社会的モラルを醸成するため。</p> <p>内容:大会において、会場での「ゴミ0運動」を展開すると共に、参加した幼稚園児・小学生をはじめ、大会運営に参加した高校生、応援席において選手を応援する父兄及び柔道愛好家並びに大会役員を含めて全員が、大会終了後にゴミ拾いをを行った。</p>	<p>(成果) 全員によるゴミ拾いについては、他の種目の会場では見られない光景であり、応援に来た父兄などからも「最初はとまどったが柔道関係者のマナーとして、良いことだと思う。今後も続けたいですね。」という声が聞かれた。</p> <p>(今後の方針) 大分県柔道連盟は、一昨年から「ゴミ0運動」を展開しているが、今後も大会ごとに実施し、大会に足を運んだ関係者みんなに、自分のゴミは自分で持ち帰るといった習慣を定着させたいと考えている。</p>

## 平成20年度 都道府県における柔道ルネッサンス活動報告

平成21年7月14日現在

都道府県	対象・時期 実施大会	活動内容	成果と今後の方針
宮崎	宮崎県柔道選手権大会(2/12)	<p>目的:柔道ルネッサンス活動の推進及び柔道の普及と振興</p> <p>内容:開会式において、小学生選手による柔道ルネッサンスを題とする作文発表、また県会長による柔道ルネッサンス活動に関する講話、大会プログラムの中に柔道ルネッサンス活動の標語を掲載し、マナーアップの向上を図る。</p>	<p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 柔道ルネッサンスの名称が広く認知され活動の主旨が理解されてきた。</li> <li>2. 大会において、選手・監督だけでなく応援者にも柔道ルネッサンス活動の認識が広まり、応援の言動等のマナーがアップされた。</li> </ol> <p>(今後の方針等)</p> <p>今後、各大会を通じて、指導者をはじめ選手・応援者に対する正しい礼法及び礼儀作法の周知の為、柔道ルネッサンス活動啓発に取り組む。</p>
鹿児島			
沖縄			